

諫早市教育委員会議事録
令和6年第1回（1月定例）

令和 6 年第 1 回（1 月定例）教育委員会

- 1 日 時 令和 6 年 1 月 2 4 日（水）
1 4 時 0 0 分～1 4 時 4 5 分
- 2 場 所 諫早市役所 8 階 会議室 8－1
- 3 出席者 教育長 石部 邦昭
委 員 原田 裕介
委 員 山口 秀雄
委 員 中野 高子
委 員 小野 靖彦
- 4 会議に出席した事務職員
教育次長 田島 正孝
教育総務課長 江頭 大一
学校教育課長 田上 顕二
生涯学習課長 竹島 健吾
- 5 議題
議案第 1 号 諫早市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則

議事録署名人の指名

原田委員と小野委員を議事録署名人に指名

議事録の承認

令和5年第13回（12月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長の報告の要旨

《教育長の報告》

1 番目に「能登半島地震、余震は今も」ということで、「今私達は何を貢献し、何を思わなければならないのか」ということなのだが、ご存知のとおり1月1日、石川県の能登半島で震度7の地震が発生し、輪島市や珠洲市などで建物倒壊や火災、津波が押し寄せるなど21日現在で232名の方が亡くなっており、安否不明者が22人、避難所生活を送っている人が1万5000人以上とされている。地震が発生してもう20日以上経つが、震災後怪我の悪化や心身の負担、疫病などで亡くなる方も増えていると聞いている。また、県が進めているホテルや旅館などへの2次避難については、全避難者の16%に当たる2,607人にとどまっており、多くの方が体育館などで不便な避難生活を送っておられる。

一番心配される小・中学生はどうなっているのかというと、ほとんどの小・中学校で授業が再開されているけれども、一部の中学校・高校が金沢市などに集団避難をしており、施設を借りて学習する体制をとっている。しかし、受験を控えている子もいるので、不便で苦しい生活になっているのではないかと思う。

私達にできることは何なのかと考えているけれども、昨日、馳石

川県知事が言われていたが、ボランティアの募集を開始するが応募いただくのは登録された方々だけになり、誰でもよいという体制にはなっていないということである。一つには、今回は半島での地震なので交通が遮断されていることもあるし、また、避難生活を送っているところでも中には火事場泥棒みたいな人がいて、お手伝いと言いながら物を勝手に持っていったり、弱みに付け込んでブルーシートを高く売ったりしているようなこともあっており、ボランティアも登録をした方だけになっているのではないかと思われる。

しかし、長崎県もいろいろな形で、物心両面の支援体制を整えている。諫早市でも募金はもちろんのこと、保健師を派遣したり災害に使えるような物資を送ったりするよう準備を整えているということであった。私達とすればそういう支援も大事だが、自分のところの危機管理体制を見直す必要があるのではないかと思う。特に、小・中学校42校の避難のあり方や、校舎等の建物の不具合等がないかである。

諫早市では、計画的に防災機能強化事業として校舎の外壁改修や屋上防水工事を行っている。40年、50年たっている建物もあるので、年次的に行っていくよう進めている。また、予防改修事業としてトイレの洋式化を進めており、来年度までに完了することになっている。それから、屋内運動場や校舎のLED化も今後進めていき、危機管理体制をさらに強化して有事に備えたい。“災害に強いまち”ということをして市長も言われているので、私達も心を一つにして見直していきたいと思っている。

2番目。1月の校長会や副校長・教頭会で「当たり前のことを当たり前に行っていきましょう」ということで、3学期の目標の提示を行った。「心豊かな教育を進めていきましょう」、「学力の向上を進めていきましょう」、これは私が掲げる両輪なのだが、人格を磨けば学力も伸びるというのが私の50年間の教育の最終結論で、挨拶であるとか、素直な心とか、端正な身なりとかいったことは、学力とは関係ないようだが非常に大事なところでリンクしている。だから、そういった面では人間形成というか、人格教育を進めながら学力も伸ばしていきたいと話をして、学校において3学期はまとめの期間で進級、若しくは卒業、進学があり非常に大事な期間なので、一日一日を大切に生きて欲しいと言っているところである。

3番目。先般、男女の全国都道府県駅伝大会があった。女子は「全員駅伝」で20位、男子は12位であった。男子は、1区で五島南高校の川原選手が区間新記録を出して、トップで2区の西諫早中学校の百田選手に繋ぎ1位と同タイムの2位で3区に繋いだ。前

半は首位争いを行い見せ場を作ったが、最終的には12位でフィニッシュした。西諫早中や諫早高校、鎮西学院高校といった諫早市の選手が頑張っていた。

4番目、諫早市の「二十歳の集い」ということで、1月7日に諫早文化会館で行われた。86%の1,048人が参加し、例年以上に集まったのかなという感じがする。華やかな中に落ち着いた雰囲気、非常に良い式典で、私も参加したがとても感動した。

5番目。諫早市のPTA研究大会。皆様方もご参加いただけたけれども、1月20日諫早文化会館で開催された。大会テーマは、「つながって守り育てる諫早」～家庭学校地域が繋がり、子どもたちの笑顔を守ろう～で、有喜小学校PTAに文部科学大臣表彰や九州、県等多くの表彰状の授与があった。その後、記念講演があり真津山小学校の高橋指導教諭から「つながりの中で見つけた宝物」と題して、特別支援教育でのエピソードを紹介しながら、「子供たちは非常に悩み苦しみながらも成長している。保護者の優しさや愛情は必ず伝わる。先生方も優しさや愛情のある指導をお願いします。」ということで、エールが送られたのではないかなと私は感じた。また、高山淳嗣さんの沖縄三線演奏が披露され心にしみる弾き語りであった。さらにその後、4小・中学校PTAの研究発表が行われて、非常に充実したPTAの研究大会であった。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

人間性の育成に関してだけれども、私も全く同感である。人間性の育成というところで、心の根っこを育てるのは、やはり家庭が大きなウェイトを占めていると思うので、保護者や地域も巻き込むという視点もとても大切なのかなと思った。

[委員]

「二十歳の集い」は出席できなかったが、市長も言われているけれども、役所広司さんや垣根涼介さんなど諫早はスポーツ選手だけではなく文化面でも有名な方が出ている。有名な学者さんもいたと思うが、そういう有名な方々を把握されているところはないのか。

以前、商工部でも話をしたことがあるが、諫早出身の著名人の方々を人材バンクみたいな形で登録しておく、いろいろな繋がりも出てくると思うので、そういうものを何かできないだろうか。長崎日大も漫画家とか写真家とか名だたる人が諫早出身でいるようなので、そういう方々を把握していくことが必要ではないか。例えば、教育関係でも学校で講演をしてもらうこともできるし、何かしらそ

ういうきっかけになれば良いと思う。

[教育長]

今の件に関連して、私がいつも感じるのは、諫早はスポーツがすごく盛んでその活躍は目立つ。しかし、言われたように文化面でも非常に多くの日本を代表するような人たちも出ているし、書道や芸術、学術面でも優れた方がたくさんいる。スポーツも良いけれども、私はできるだけスポーツばかりにいかないように、文化面での諫早の活躍というのも大事なことでないかと思っており、気がけていくよう考えている。

[委員]

関連して、ヤマハの常務になった方もいる。小長井の人でヤマハの常務執行役員までされた。会社関係でも頑張っている人がいるので、そういう人も含めて話を聞くことができるようになればいいのではないかなと思う。

[教育長]

直接関係ないかもしれないけれども、今後、ソニーとか京セラとかの関係で半導体の人材を育成することも大事なことだと思う。もちろん、本社から来るのだろうけれども、全部それで埋まるわけではなく地元からもたくさんの方々、地元で頑張っている人たちは引き抜かれないようにしてほしいが、学卒の子供たちに行ってほしいなと思っている。

今、県の方に要請しているのは、大村工業とか長崎工業はあるけれども、諫早は工業系の高校がないので必要じゃないかと。そうしたときに、諫早東高校は今2クラス分の定員があるが実際1クラス分しか埋まっていない。従って、工業科を作るのではなく1クラス分で工業系の入口みたいな一般教養でもいいので、そういうものを教えるクラスを作って、例えば、ソニーや京セラから講師で来てもらうなどして、高校生が興味を持つようなことをしてはどうかという話をしてきたところである。人材もいろいろな分野に渡って育成しないといけないなというふうに思っている。

[委員]

「二十歳の集い」について、コロナ禍ということもあって委員になって初めて参加させていただいた。本当にたくさんの方が集まっていた。飯盛では名称は違うけれども1月4日の日に地元であるのだが、飯盛からも結構な数が参加していて、高校の友達と会えたということも勿論あったと思うが、すごく良い式であったという感想がたくさん寄せられていた。ちなみに、1,048人参加とあるけれども、来年は文化会館使えないとなると、どこで開催するか考え

ているのか。

[生涯学習課長]

令和7年1月は文化会館が使えないので、中央体育館（内村記念アリーナ）での開催を検討しているところである。

[委員]

また盛り上がるような内容でしていただけたらと思う。

[生涯学習課長]

会場が体育館なので、殺風景な式にならないように予算要求をしているところである。

[教育長]

その年に当たった20歳の人たちが、自分たちの時は冴えない式であったという印象を持たないように、文化会館の時と変わらないぐらいの式をする気持ちで今頑張っているところである。

《議題》

議案第1号 諫早市立小・中学校管理規則の一部を改正する規則
学校教育課長 説明

[委員]

教職員の勤務評定が人事評価に名称が変わるだけなのか。

[学校教育課]

内容も若干変わっている。新しい人事評価については、教職員も管理職も自己評価も含めた評価となっており、他県でも同様の内容で行っているところがある。

原案可決

その他

生涯学習課長

「子どもでつながる地域づくり」フォーラムについて説明

学校教育課長

1月24日の大雪に伴う小・中学校の対応について説明

教育総務課長

2月定例教育委員会の日程及び臨時教育委員会の日程調整について説明

14時45分閉会